

平成 25 年度 事務事業マネジメントシート [事後評価]

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	06	01	03	0401	園芸品目経営安定事業

事業期間	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返	<input type="checkbox"/> 期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	---	-------------------------------	-----------------

《事業目的》
青果物の価格安定

《事業開始の背景》
国、県が実施する園芸品目の価格安定制度の補完事業として旧市町ごとに実施していたが、平成19年度の国の制度見直しにより減額された部分を中心に事業を統一し、園芸農家の所得確保と園芸産地の維持を図るために実施している。

《事業概要》
○園芸品目経営安定対策
園芸品目経営安定対策事業基金の造成

市民参画の有無 [対象外]

《事業展開の留意事項》

《成果指標》

項目	単位	区分	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(計画)
① 花巻農協青果物出荷販売額	千円	目標	1,907,645	1,814,750	
		実績	1,785,168	1,843,593	
② 野菜販売数量	箱	目標	878,633	865,800	
		実績	684,468	587,647	
③		目標			
		実績			

分野	担当部(機関)	担当課(機関)	担当係長	(内線)
しごと	農林部	農政課	藤原 啓昭	6-293

		25年度	当初(現計)	補正	25年度	26年度
事業費		7,890				
財源内訳	国県支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源	7,890				

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること

●園芸品目経営安定事業 7,890千円

■園芸品目経営安定対策事業(市単独) 6,000,000円
価格の下落により青果物等価格安定制度が発動された場合などに生産者へ補給金を交付

- 基金の造成 (千円)

総額	市(40%)	農協(40%)	生産者(20%)
15,000	6,000	6,000	3,000

- 平成24年度の補てん額 15,002,088円

■青果物価格安定事業 1,890,417円
青果物等価格安定事業は、生産者が、農協・全農岩手県本部を通じて出荷した青果物等の価格が異常に低落した場合、生産者に対し補給金を交付

○特定野菜産地育成価格差補給事業 1,714,883円

資金造成負担割合

	国	県	市町村	農協	生産者
特別	—	30%	20%	20%	30%
一般	1/3	2/3の30%	2/3の20%	2/3の20%	2/3の30%
	1/2	1/2の30%	1/2の20%	1/2の20%	1/2の30%

事業資金造成=国、県、市町村、農業団体、生産者

○県単青果物価格安定事業 175,534円

資金造成負担割合

	国	県	市町村	農協	生産者
県単	—	30%	20%	20%	30%

事業資金造成=県、市町村、農業団体、生産者

平成 25 年度 事務事業マネジメントシート [事後評価]

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	06	01	03	0401	園芸品目経営安定事業

総合計画	政策	地域資源の連携強化で産業振興のまちづくり	施策	2次・3次産業との融合による強い1次産業の育成
	1		1-1	
目的	青果物の価格安定			
対象	野菜価格安定事業の対象となる野菜生産出荷者。			
意図	野菜生産出荷者の再生産所得を確保し、安定した農業経営が継続される。			

《事業概要》…上記目的を実現するための事業手法を記載すること

○園芸品目経営安定対策
園芸品目経営安定対策事業基金の造成

市民参画の有無 [対象外]

市民協働の形態	<input type="checkbox"/> 共催	<input checked="" type="checkbox"/> 実行委員会・協議会	<input type="checkbox"/> 事業協力・協定
	<input type="checkbox"/> 後援・協賛	<input type="checkbox"/> 補助・助成	<input type="checkbox"/> 委託

活動指標 (上記「事業概要」に対応)	単位	区分	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(計画)
① 市内の園芸品目出荷者数	人	計画	1,900	1,900	
		実績	1,822	1,662	
②		計画			
		実績			
③		計画			
		実績			
成果指標 (上記「意図」に対応)	単位	区分	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(計画)
① 花巻農協青果物出荷販売額	千円	目標	1,907,645	1,814,750	
		実績	1,785,168	1,843,593	
② 野菜販売数量	箱	目標	878,633	865,800	
		実績	684,468	587,647	
③		目標			
		実績			

要因分析

達成度 目標値より高い 概ね目標値どおり 目標値より低い

・異常気象による出荷数量が伸びず販売数量が落ち込んだが、価格が安定したことで出荷販売額は目標を上回った。

《環境変化、意見・要望》…環境変化はないか？ 意見や要望が寄せられていないか？

・生産者からは事業継続の要望がある。

目的妥当性	<p>公共関与の妥当性</p> <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない	<p>・国、県が行う青果物価格安定事業で補填割合が低い振興作物があるため、振興作物を安心して生産できる環境を整備する必要がある。</p>
有効性	<p>成果の向上余地</p> <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない	<p>・園芸作物の生産者、販売量の増加の余地がある。</p>
効率性	<p>事業費・人件費の削減余地</p> <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> どちらも削減余地がない	<p>・気象条件によって現状の基金枠（1500万円）に達することもあり、生産者の安心感を得るためには削減できない。 ・基金運営は花巻農協が行っており、職員の関与は花巻市園芸品目経営安定対策委員会への出席と基金への交付事務のみで削減の余地はない。</p>
公平性	<p>受益と負担の適正化余地</p> <input type="checkbox"/> 受益機会の見直し余地がある <input type="checkbox"/> 費用負担の見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適正である	<p>・基金は市40%、農協40%、生産者20%の割合で負担しており、補填対象者は国、県の価格安定事業の対象者となっていることから適正である。</p>

《総合評価》…上記評価結果の総括

青果物の価格安定による農家所得の確保を図るために、基金造成を行い、異常気象などによる出荷数量や販売単価の下落に対応することができた。